

令和6年度 東京都立八潮高等学校全日制課程 学校経営計画

「夢につながる。八潮がつなぐ。もっと自分が好きなる。」

1 目指す学校像

<p>(1) スクール・ミッション (期待される社会的役割)</p> <p>「自主性のある個性豊かな人間、礼儀を重んじ公共のものを大切にする人間、知性を磨き深く考える人間、心身を鍛え強く明るい人間、責任を重んじ信頼される人間」の育成を教育目標とし、特進クラスや校内寺子屋制度を活用した、生徒の学力に合わせた学習指導等の教育活動を通して、自らの生き方在り方を自律的に考える生徒を育成します。</p>
<p>(2) スクール・ポリシー</p>
<p>【グラデュエーション・ポリシー】 育成を目指す資質・能力に関する方針</p> <p>社会における自分自身の役割を認識し、人生を力強く切り拓き、自己実現を意欲的に図ろうとする意志をもつ生徒を育てる。</p>
<p>【カリキュラム・ポリシー】 教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>キャリア教育を主軸とした教科横断的な指導体制を構築すると共に、基礎・基本の確かな定着を図る。</p> <p>基礎学力を基にした自己学習力を強化し、応用力・実践力の向上を図る。</p> <p>多様な学習目的・学力をもった生徒に、「知る」「つながる」「表現する」取組の連環を通して進路開発に結び付く力を育成する。</p>
<p>【アドミッション・ポリシー】 入学者の受け入れに関する方針</p> <p>本校での学校生活における目的意識を明確にもち、3年間継続して勉学と特別活動に意欲的に取り組み、自主性・協調性など豊かな人間性を身に付けようとする生徒を期待する。</p>

2 中期的目標と方策

3 今年度の取組目標と方策

<p>(1) 学校全体</p> <p>ア キャリア教育の推進</p> <p>進路指導部及びキャリア教育推進委員会を中心として、自立して生きる能力や態度を身につけられるキャリア教育を推進する。</p>	<p>(1) 学校全体</p> <p>ア キャリア教育の推進</p> <p>進路指導部及びキャリア教育推進委員会を中心として、「人間と社会」「総合的な探究の時間」、「キャリア探究」の授業を活用し、探究活動に取り組み、進路意識を高め、学習意欲の向上を図る。</p> <p>①育成する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、課題設定する力 ・課題解決に必要な情報収集する力 ・情報整理・分析し、課題解決する力
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>イ 効果的な特進クラスの運営 教務部を中心として、大学・短大への進路実現を図れる、効果的な特進クラスの運営を行う。</p> <p>ウ 入学選抜応募者数の増加 総務部を中心として、効果的な広報活動により、入学選抜応募者数の増加を図る。</p> <p>エ 東京都教育委員会指定校事業の活用 関係分掌・委員会を中心として、教育活動の充実を図れる、東京都教育委員会指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果をまとめ、発表する力 ②「人間と社会」「総合的な探究の時間」 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的な活動態度の育成指導 ・知識、技能の育成指導 ・情報リテラシーの育成指導 ・進路開発力の育成指導 ③「キャリア探究」 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒と教員からなるゼミ活動 ・将来の職業に関係するテーマでの探究活動 ④キャリア教育の振興に資する外部諸機関との連携及び優れた先行事例の研究。 <p>イ 効果的な特進クラスの運営 教務部を中心として、大学・短大への進路実現を図れる、効果的な特進クラスの運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①四年制大学進学実現のための具体的方策の検討 ②進学ゼミの改善 ④模擬試験等の有効活用 ⑤大学入学共通テスト受験の推進 <p>ウ 入学選抜応募者数の増加 総務部を中心として、効果的な広報活動により、入学選抜応募者数の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速なホームページの更新 ・ホームページを閲覧する側に立った適切な管理 ・受検生のニーズに沿った広報活動 ・外部の学校説明会等への参加 ・中学校や学習塾への働きかけ ・都立高校 PR 事業の活用 ・学校紹介映像の活用 ・オンラインを活用した広報活動 ・その他 <p>エ 東京都教育委員会指定校事業の活用 関係分掌・委員会等を中心として、指定校事業を活用し、基礎学力の定着、個</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

校事業の有効活用を行う。

オ 生徒の心身の健康の保持増進

関係委員会等を中心として、生徒が安心して学校生活がおくれる、生徒の心の健康の保持増進を行う。

カ 生徒の体力向上

体育授業及び部活動等を通して、自ら体力を高めていく習慣を身に付けられる、体力の向上を図る。

キ 教育課程の管理

教務部及び教育課程委員会を中心として、適正な教育課程の管理を行う。

ク 人材育成の実施

若手教職員及び中堅教員の育成を図る。

別学習の支援、理数教育の推進を図る。

- ①学力向上研究校（校内寺子屋）
- ②AI教材活用推進校
- ③教育データ利活用実証研究校
- ④理数研究校

オ 生徒の心身の健康の保持増進

関係委員会等を中心として、スクールカウンセラー及び外部機関等を活用し、生徒が安心して学校生活がおくれる、生徒の心の健康の保持増進を行う。

- ①東京都いじめ防止対策推進基本方針に則り、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。
- ②自殺総合対策大綱に基づき、生徒の自殺対策に資する教育（特に「SOSの出し方に関する教育」）の推進に取り組む。

カ 生徒の体力向上

体育授業及び部活動等を通して、自ら体力を高めていく習慣を身に付けられる、体力の向上を図る。

- ①「総合的な子供の基礎体力向上方策」を参考に生徒の体力向上に取り組む。
- ②その他

キ 教育課程の管理

教務部及び教育課程委員会を中心として、適正な教育課程の管理を行う。

- ①習熟度別授業の改善及び国語での実施準備
- ②卒業単位数の検討
- ③地学基礎についての検討
- ④観点別評価の検証及び改善
- ⑤単元別指導計画の適正な設定
- ⑥その他

ク 人材育成の実施

OJTを推進し、若手教職員及び中堅教員の育成を図る。

- ①若手教員の研修計画に基づく、指導教員による計画的な指導を行う。

ケ ライフ・ワーク・バランスの推進
デジタル技術の活用及び業務改善により、教員一人一人の心身の健康保持を図る。

コ サービス事故の根絶
体罰や不適切な指導、各ハラスメント、個人情報の紛失等、サービス事故の根絶を図る。

サ 地域等との交流の実施
生徒会及び部活動等において、生徒の進路実現と社会参画意識の育成を図れる地域等と交流を実施する。

シ 経営企画室の学校経営への参画
適正な予算編成と執行などの財務管理

- ②若手教員育成研修では主に授業力向上を、中堅教諭等資質向上研修では、主に学校運営力向上を組織的に図る。
- ③全教職員が互いに人材育成に積極的に取り組み、互いの能力開発に努める。
- ④属人的な力に頼ることなく、組織として課題解決に向けた業務ができるよう計画的な人材育成を実施する。

ケ ライフ・ワーク・バランスの推進
生活と仕事の両立及び調和のために、必要なデジタル技術の活用及び業務改善を行う。

- ① I C T 機器を利活用した業務及び授業改善
- ②統合型校務支援システム及び定期考査採点分析システムの活用促進
- ③校内研修・自己研修の活性化。
- ④夏季休暇及び年次有給休暇の完全消化
- ⑤育児・介護等と仕事の両立支援
- ⑥その他

コ サービス事故の根絶
体罰や不適切な指導、各種ハラスメント、個人情報の紛失等、サービス事故の根絶を図る。

- ①サービス規律の遵守
- ②サービス事故防止研修の実施
- ③体罰関連行為のガイドラインの活用
- ④その他

サ 地域等との交流の実施
生徒会及び部活動等において、生徒の進路実現と社会参画意識の育成を図れる地域等と交流を実施する。

- ①周辺町内会
- ②近隣教育施設
- ③他校生徒会等
- ④その他

シ 経営企画室の学校経営への参画
適正な予算編成と執行などの財務管

<p>及び安全な教育環境の維持・管理を徹底し、学校経営を支える企画提案を図る。</p> <p>ス 学校図書館の充実及び有効活用 総務部を中心として、生徒キャリア形成できる学校図書館の充実及び有効活用を行う。</p> <p>セ 施設の修繕・整備 経営企画室及び環境整備推進委員会を中心として、魅力ある学校となるよう、施設の修繕・整備を行う。</p> <p>ソ 入学選抜方式の検討 教務部を中心として、本校の目指す学校像が実現できるよう、入学選抜方式を検討する。</p>	<p>理及び安全な教育環境の維持・管理を徹底し、学校経営を支える企画提案を図る。</p> <p>①学校運営に対しての積極的な提案 ②学校諸施設の改善への取組 ③自律経営推進予算の費用対効果を念頭に置いた予算計画の立案 ④適正かつ迅速な予算執行 ⑤学校説明会など広報活動への協力。 ⑤その他</p> <p>ス 学校図書館の充実及び有効活用 総務部を中心として、生徒キャリア形成できる学校図書館の充実及び有効活用を行う。</p> <p>①読書の推進 ②司書教諭と学校司書が連携した図書整備業務の実施 ③生徒が自発的に調査・研究できる学習環境の整備 ④蔵書資料の調査及び稀覯本の発掘調査・研究 ⑤その他</p> <p>セ 施設の修繕・整備 経営企画室及び環境整備推進委員会を中心として、魅力ある学校となるよう、施設の修繕・整備を行う。</p> <p>①校内諸施設の危険箇所、破損箇所、老朽箇所の修繕・改善 ②教室等の改善及び有効利用 ③その他</p> <p>ソ 入学選抜方式の検討 教務部を中心として、本校の目指す学校像が実現できるよう、入学選抜方式を検討する。</p> <p>①前後期募集の検証・改善 ②推薦選抜・特別推薦の検証・改善</p>
<p>(2)「学習指導」 ア 授業力等の向上</p>	<p>(2)「学習指導」 ア 授業力等の向上</p>

<p>「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業を展開できるよう、授業力の向上を図る。</p> <p>イ 基礎・基本の定着 生涯学び続けることができるよう、基礎・基本の学力の定着を図る。</p>	<p>「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業を展開できるよう、授業力の向上を図る。</p> <p>①ICT 機器の積極的な活用 ②ICT 機器の効果的な指導法についての研究 ③共通問題の推進 ④教員相互の授業参観の実施 ⑤その他</p> <p>イ 基礎・基本の定着 生涯学び続けることができるよう、基礎・基本の学力の定着を図る。</p> <p>①教科会の充実 ②観点別評価の検証及び改善 ③復習の習慣化 ④自学自習の推進 ⑤自習室の有効活用 ⑥外部模試の有効活用（データ分析、学び直し等） ⑦その他</p>
<p>(3)「生活指導」「保健指導」</p> <p>ア 基本的生活習慣の確立 安心・安全な学校生活がおくれる、基本的生活習慣を確立させる。</p> <p>イ 健康的な学校生活 健康的な学校生活がおくれるよう、保健指導・美化活動の充実を図る。</p>	<p>(3)「生活指導」「保健指導」</p> <p>ア 基本的生活習慣の確立 安心・安全な学校生活がおくれる、基本的生活習慣を確立させる。</p> <p>①生活指導の意義を生徒に周知 ②時間の順守（遅刻防止・チャイム着席等） ③身だしなみ指導の実施 ④挨拶の励行 ⑤交通安全への意識向上 特に、通学時の自転車ヘルメットの着用 ⑥携帯電話等及び SNS 等の適切な利用 ⑦薬物の乱用防止 ⑧特別支援教育の推進 ・ケース会議の実施 ⑨その他</p> <p>イ 健康的な学校生活 健康的な学校生活がおくれるよう、保健指導・美化活動の充実を図る。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ①健康教育・健康相談、 保健衛生指導の充実 ②美化活動の徹底 ③担任や家庭、校医・薬剤師、関係機関との連携 ④その他
<p>(4)「進路指導」</p> <p>ア すべての生徒の進路希望実現 進路指導部、学年及び教科が連携して、消極的な選択をさせない指導により、すべての生徒の進路希望を実現する。</p> <p>イ 進学実績の向上 様々な受験方法を活用し、進学実績の向上を図る。</p>	<p>(4)「進路指導」</p> <p>ア すべての生徒の進路希望実現 進路指導部、学年及び教科が連携して、適切な選択をさせる指導により、すべての生徒の進路希望を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①進路行事の充実 ②面接指導及び小論文指導の充実 ③外部人材の活用 ④その他 <p>イ 進学実績の向上 様々な受験方法を活用し、進学実績の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①早期からの意識付け ②特進クラスの意義の明確化 ③効果的な特進ゼミの実施 ④模擬試験の有効活用 ⑤統合型校務支援システムの有効活用 ⑥大学入学共通テスト受験の推進 ⑦その他
<p>(5)「特別活動・その他」</p> <p>ア 人間関係の形成、社会への参画、自己の実現 学級活動、委員会活動・部活動、学校行事を通して、人間関係の形成、社会への参画、自己の実現を図る。</p> <p>イ 防災教育の推進</p>	<p>(5)「特別活動・その他」</p> <p>ア 人間関係の形成、社会への参画、自己の実現 学級活動、委員会活動・部活動、学校行事を通して、人間関係の形成、社会への参画、自己の実現を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①委員会活動の充実 ②部活動の活性化 ③文化・芸術に親しむ行事の実施 ④体育活動に親しむ行事の実施 ⑤読書活動に親しむ行事の実施 ⑥その他 <p>イ 防災教育の推進</p>

能動的に防災に対応することのできる人材を育成することにより、防災教育の推進を図る。

ウ 社会参画意識の育成

主権者教育及び消費者教育の充実させることにより、社会参画の育成を図る。

エ グローバル人材の育成

英語力を基盤とした様々な資質・能力を育成する。

能動的に防災に対応することのできる人材を育成することにより、防災教育の推進を図る。

- ①家庭・地域・関係機関との連携
- ②「東京防災」「安全教育プログラム」「東京マイ・タイムライン」の活用
- ③様々な想定による避難訓練
- ④その他

ウ 社会参画意識の育成

主権者教育及び消費者教育の充実させることにより、社会参画の育成を図る。

- ①主権者意識・消費者意識を高める行事の実施
- ②教科等による主権者教育・消費者教育の実施
- ③その他

エ グローバル人材の育成

積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚を育成する。英語力を基盤とした様々な資質・能力を育成する。

- ①主体的に学び続ける態度と総合的な英語力の育成
- ②国内外の課題を解決する創造的・論理的思考力の育成
- ③世界の中の一員としての自覚と自己の確立
- ④多文化共生の精神の涵養と協働する力の育成
- ⑤東京都教育委員会事業及び外部機関等の活用

4 数値目標

()内の値は、令和5年度の結果

生徒の学校満足度 (本校に入学してよかったと思える生徒)		88〔%〕	(82.3)
自律的学習習慣の定着 (授業以外で自ら学習する習慣のある生徒)		65〔%〕	(57)
年間遅刻率 1クラス当たりの1日の遅刻者数〔人/組/日〕		1〔人〕未満	(5.01)
部活動定着率		85〔%〕	(86)
卒業時の進路決定率		90〔%〕	(88)
四年制大学受験者率	(全体)	50〔%〕	(33)
	(特進クラス)	80〔%〕	(60)
四年制大学進学率	(全体)	37〔%〕	(29)
	(特進クラス)	60〔%〕	(42.9)
学校ホームページアクセス数		70,000〔回〕	(65,115)
学校説明会等の参加者数		2,000〔人〕	(1,653)
入学選抜倍率	(推薦)	2〔倍〕	(1.94)
	(前期)	1〔倍〕	(1.17)
	(後期)	1〔倍〕	(0.79)